

⁶⁸Ga-PSMA PET/CT 検査についての説明・同意書 - 1

1、⁶⁸Ga-PSMA PET/CT 検査について

⁶⁸Ga(ガリウム)-PSMA とは、「PSMA 標的療法の前立腺癌患者への適応判定の補助」を目的とする検査です。前立腺がんによく存在する前立腺特異的膜抗原(PSMA)に結合する放射性物質(⁶⁸Ga)のついた薬剤を注射して専用のPETカメラ(陽電子放出断層撮影)でがん細胞の位置を特定しがんを診断する検査です。※PSMA 標的療法は放射性リガンド療法とも言われます。

2、薬剤の副作用について

⁶⁸Ga(ガリウム)-PSMA についての副作用発現頻度は稀ですが、主に0.5%未満で口内乾燥、悪心、便秘が報告されています。投与後は十分に観察いたします。

3、検査の流れについて

- ①検査前の食事や内服薬の制限はありません。
- ②13:00までにPETセンターにお越しいただきます。受付にて本人および書類等の確認を行い、薬剤の生成を開始します。13:45になりましたら看護師の案内により身長・体重・血圧測定、問診票の確認後、血管確保を行い、薬剤を静脈注射にて投与します。
- ③投与した薬剤が目的部位に到達するまで飲水しながら50分程度時間をおいてから撮影します。この間、安静室でゆっくり過ごしていただきます。
- ④撮影時間になりましたら、直前にトイレで排尿を済ませていただき、全身のCT検査後、続けてPET検査を約40分かけて行っていきます。撮影時はベッドに仰向けの状態で安静にさせていただきます。

※所要時間は受付からご帰宅まで通常3時間ほどを見込んでいます。

4、被ばくについて

薬剤から微量な放射線が放出されます。検査をお受けになった方の被ばく線量は体重約60kgの方ではPET検査とCT検査併せて約12mSv になりますが体内の薬剤は時間とともに減少していきます。また水分を多くお取りになっていただきますと、体内からの不要な薬剤の排泄が促進され無用な放射線被ばくを低減するという効果が期待できます。一般的に日本で行われている通常のCT検査による被ばく量は5~30mSv程度になります。(※ICRP Publication 102より各部位におけるCT検査の実効線量をDLP-実効線量換算係数を用いて算出)

また、体からは検査後しばらくの間、体内に残った薬剤からわずかに放射線が放出されますので、検査をお受けになった患者様の近くにいる方も放射線を被ばくする恐れがあります。この放射線による被ばくの量は、健康に直接害を及ぼすほどではありませんが、無用な被ばくを避けるため、検査をお受けになられた当日は特に妊婦中の方や小さなお子様などとの密接な接触は避けるようにして下さい。

5、検査費用とキャンセルについて

検査当日に薬剤を調整いたしますので、事前キャンセル希望の場合は検査前日の8:30~17:00までに **PET 画像診断センターTEL 0248-22-2282** まで必ずご連絡ください(土・日・祝日を除く)。

また当日キャンセルについては体調不良、災害等以外は薬剤費をご請求いたしますのでご了承ください。

- ・検査費用:3割負担で約16万5千円、1割負担で約5万5千円
- ・当日キャンセルによる薬剤費請求額:約20万円

6、その他

- ・検査機器のトラブル等により、検査時間の遅れや検査が行えないこともありますので予めご承知下さい。
- ・安静室では薬剤投与した後の健康状態を観察するために監視モニターを設置しています。ご理解下さい。
- ・撮影した画像データは医療の発展のため学会、講演、論文等に使用する事もありますが、プライバシーに関わる個人情報公表されることは一切ありません。

⁶⁸Ga-PSMA PET/CT 検査についての説明・同意書 - 2

- 1、⁶⁸Ga-PSMA PET/CT 検査について
- 2、薬剤の副作用について
- 3、検査の流れについて
- 4、被ばくについて
- 5、検査費用とキャンセルについて(当日キャンセル薬剤請求額:約 20 万円)
- 6、その他

[説明医師]

上記の内容を“⁶⁸Ga-PSMA PET/CT 検査についての説明・同意書”を用いて説明いたしました。

年 月 日

医療機関名: _____ 科

氏名: _____

[患者様]

私は、以上の内容につき担当医から説明を受け、十分に理解しましたので、⁶⁸Ga-PSMA PET/CT 検査の実施に同意します。

年 月 日

患者氏名: _____

代理人氏名: _____ (続柄: _____)